

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 姫路市立中央体育館 Aコート

試合区分: No. 105 成年男子 1回戦

期 日: 2006(H18)年10月1日(日)

主審: 松本 隆志

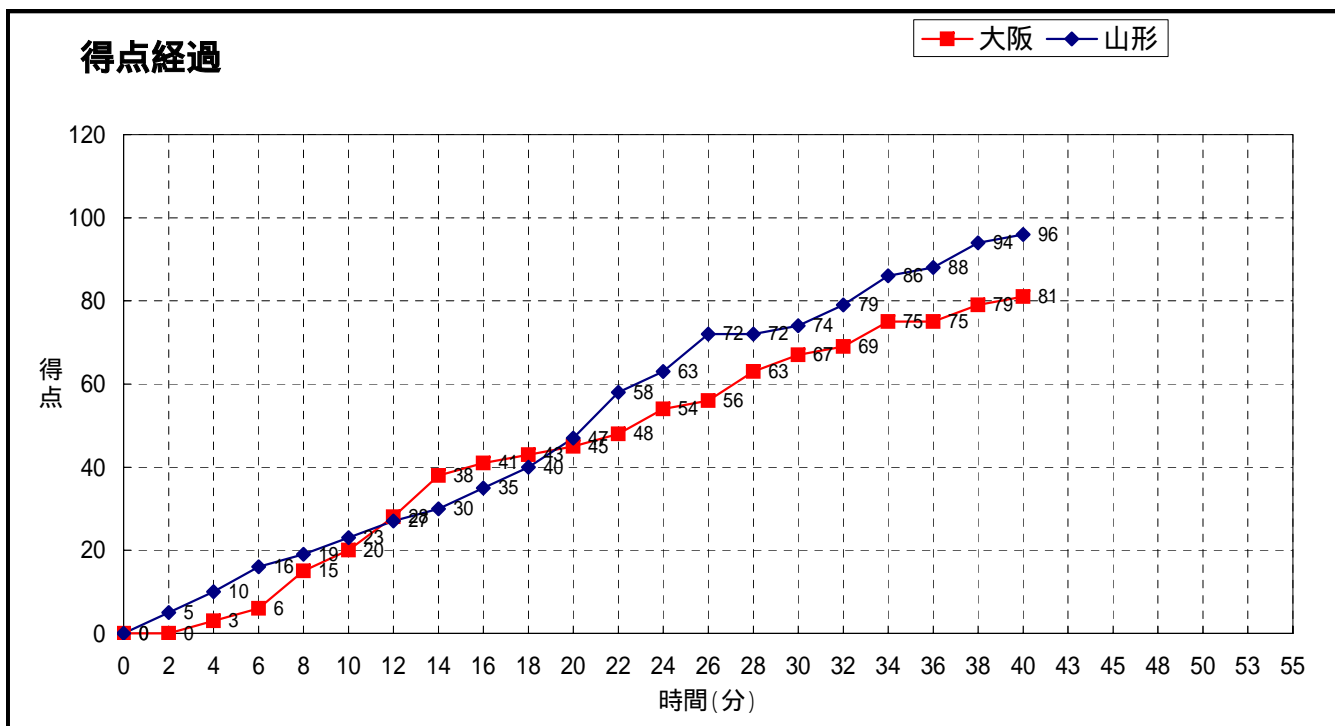
開始時間: 13:30

副審: 川原 禎仁

終了時間: 15:07

山形						大阪									
86						81									
(東北)						(近畿)									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	笹原 慎也	17	1	6	2	4	4	*	中島 英文	0	0	0	0	2
5	*	伊藤 和哉	9	0	3	3	3	5		宮下 健二	2	0	1	0	3
6	*	橋本 伸広	19	2	4	5	5	6		成川 耕平	-	-	-	-	-
7		小野 学	2	0	1	0	3	7		丸岡 孝広	0	0	0	0	1
8	*	中村 裕紀	39	5	8	8	2	8	*	金子 武史	2	0	1	0	1
9		小野 賢一郎	5	1	1	0	1	9		小松 雄太	-	-	-	-	-
10		阿部 一貴	5	1	1	0	0	10		守屋 卓哉	13	1	4	2	1
11		岡崎 克幸	0	0	0	0	0	11		坂下 真司	-	-	-	-	-
12	*	佐藤 孝行	0	0	0	0	1	12		西勝 光希	3	0	0	3	2
13		田苗 伸哉	-	-	-	-	-	13	*	柳原 悠	15	0	7	1	2
14		相馬 直仁	-	-	-	-	-	14	*	野々口 航太	23	5	3	2	4
15		柏倉 一史	-	-	-	-	-	15	*	遠藤 遼	23	5	3	2	3
コーチ 安達 祐								コーチ 露口 憲一							
合計			96	10	24	18	19	合計			81	11	19	10	19

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、立ち上がり山形がセットオフェンスからのポストプレイ、#8中村の3Pシュートなどでリズムをつかむ。波に乗れない大阪は、残り3分でのタイムアウトの後に速攻でリズムをつくり、セットオフェンスからの3Pシュートが決まり出す。しかし、23-20山形リードで終了した。

第2ピリオド、セットプレイでのしのぎ合いが続く。インサイドのディフェンス強化でリズムをつかんだ大阪は残り7分、#14野々口の3Pシュートで追いすがり、一時は逆転するが、終了直前に再逆転した山形が47-45とリードして前半終了。

第3ピリオド、山形は#4笹原のドライブインやミドルシュート、#8中村の3Pシュートで得点を重ね、勢いに乗る。16点差までリードが広がるが、大阪も#14野々口、#15遠藤の3Pシュートが決まり、7点差まで縮めるが、74-67山形リードで終了する。

第4ピリオド、インサイドの強さが戻った山形がリードを広げる。残り5分までは得点の取り合いになったが、その後大阪のシュート成功率が下がり、15点差の96-81で山形が勝利した。

担当者: 山本 篤史(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会